

- ◆研究者：大橋 圭明（オハシ かつアキ）先生 / 岡山大学病院 呼吸器アレルギー内科
- ◆研究テーマ：REIC 遺伝子発現アデノウイルスベクターによる EGFR 変異肺癌に対する革新的腫瘍免疫療法の開発
- ◆助成金額：100 万円

1：研究者になろうとしたきっかけ

研究をしていた父親の影響、臨床医としての経験を通してがん治療の限界を痛感したこと、大学院で指導医に恵まれ研究することにやりがいを感じたことなど様々なことが、研究するきっかけ、原動力となっています。

2：助成研究の内容紹介

非喫煙者に発症する肺癌の中で、最もメジャーな上皮成長因子受容体（EGFR）に変異を有する非小細胞肺癌（EGFR 肺癌）に対する腫瘍免疫療法の開発に取り組んでおります。EGFR 肺癌はオプジーボなど既存の免疫療法の効果が乏しく、新規腫瘍免疫療法の開発は未解決の重要な課題となっています。この度助成いただくこととなった研究は、アデノウイルスベクターにより EGFR 肺癌細胞に対する抗腫瘍免疫を活性化させる新規腫瘍免疫療法の開発を目指しております。

3：2の将来に繋がる結果予想・目標

EGFR 肺癌患者さんに革新的な効果をもたらす新規治療開発の礎になることを期待して日々研究に取り組んでおります。
基礎研究結果を元に、臨床試験へ展開することを目標としております。

4：全国の RFL 関係者に一言メッセージ

RFL の取り組みが末広がり益々発展し、患者さんの笑顔が増えること祈念しております。